

# 1. 府立西乙訓高等学校「自転車安全利用推進員講習」

京都府内の高等学校として、初めて「自転車安全利用推進員講習」を実施  
第1学年(2/8)、第2学年(1/27)計10クラス、382名が受講しました！

平日の5、6時間目に、2クラスと3クラスの班に分かれ、講義と実習を受講

## 講義内容

- ①基礎知識  
自転車の構造と安全利用条例
- ②事故責任と損害賠償  
責任の範囲や民事裁判の賠償命令
- ③事故発生の状況  
地域の事故状況
- ④交通法規の基礎知識  
自転車安全利用五則  
道路交通法(法規範と罰則)
- ⑤運転方法の事故リスク  
危険な運転による事故例
- ⑥法令遵守(人としてのコンプライアンス)  
自らに及ぶ前科・前歴

## 実習内容

- ①自転車運転の悪例実習  
T字路、出会い頭、追越し等の危険
- ②車の特性  
内輪差と運転席の死角
- ③自転車運転操作実習  
傘差し、二人乗り、携帯電話操作  
でのスラローム走行の危険
- ④危険回避実習(白バイ隊員実習応用)  
速度感知器と停止命令操作による  
衝突回避操作実習



(自転車運転操作実習  
風景)  
携帯電話操作など・・・

間隔の狭いスラローム「ながら運転」では、  
運動神経の良い高校生でも上手い出来ないもの。

自転車安全利用推進員講習では、講義・実習  
を通じ、交通法規を守ることが自らの命と他  
人の命を守ることを学んでいただきました。  
法令を遵守することで青少年の健全育成にも  
寄与しています。



(危険回避実習風景)

速度が出ていなくても以外と回避が難しい



(車の特性など)

わかっているつもりの内輪差、車からの死角

4/9(月)自転車安全利用推進員委嘱式  
委嘱を受けた33名の生徒が、向日町警察  
署と協働し、新1年生とその保護者に対し  
自転車安全利用の啓発活動を行いました。

## 2. セーフコミュニティのすすめ

3/6中丹広域振興局、3/22丹後広域振興局において、安心・安全推進連絡会が実施されました。

管内各市町村と教育委員会、消防署、警察署と広域振興局・教育局が地域の防犯・犯罪被害者支援・青少年健全育成・交通安全等のセーフティプロモーションについて、熱心に協議を進めました。



セーフコミュニティ認証都市亀岡市の活動から地域活動の活性化を図る。



亀岡市企画管理部夢ビジョン推進課  
田中秀門課長のセーフコミュニティ  
活動普及講演風景

3/22セーフコミュニティ活動推進に向けた京丹後市役所職員研修会が実施されました。

4月からの活動メニューを効果的に推進するために、セーフコミュニティの概念に基づき進めたいとの思いから、市職員の方々が熱心に取り組みました。京都府の協働・支援事業の実績報告の後、質疑応答が実施されました。



4月中に、第2回目の職員研修と地域住民への研修会が予定されています。